



明治神宮 五輪橋から撮影した冬至の日の出
(撮影：徳真会グループ 代表 松村 博史)

「一陽来復」(陰極まりて陽に転じる)

賀 正

＜本年組織テーマ＞ 北辰衆星

北極星を中心としてその周りを星がめぐる様に組織の方針に組織全体が向かって努力してゆく意

丙 午

〈 2026 年 〉

新年明けましておめでとうございます。

昨年 10 月に発足した日本で女性初の高市政権は、日本維新との連立で運営基盤としては盤石ではない中で、高い支持率を維持しながら日本が抱えていた数々の課題の解決に向けて真摯に取り組んでいて、期待の持てる政権になっていると思います。
世界的に見て優れたリーダーが不在となってきた現状の中で、存在感の有る日本の復活を期待したいところです。

今年は^{ひのえうま}丙午の年で、強いエネルギーや特性を持ち行動力があるのが、この年の生まれの人の特徴とされています。
60 年に 1 回の丙午の年では 1966 年にはビートルズが来日、日本の高度成長の中で都市化が進み郊外などの歪みも表れ始めた時期でした。
今年、日本の再生に向けて良いスタートの年となる事を願っています。

昨年も徳真会グループでは診療部門においては、年間 70 万人を超える患者様の治療に携わらせて頂きました。
また技工部門では、世界最大の市場を持つアメリカ本土での今後の本格展開に向けて、組織の大改造を行い国際的受注と製造体制の再構築へ向けてステップアップを図っております。
また、昨年は徳真会グループ創業 45 周年目の節目の年で、組織の継承発展へ向けての準備を始めた年でもありました。
年々時代の変化のスピードが早くなる中で、時代のニーズに合わせた「時代先駆の歯科医療グループの創造」への挑戦を今年も引き続き行ってゆくつもりであります。

今年徳真会グループでは「人財の育成」を継続して行いながら、「現場力の強化」を図ってゆくつもりであります。

①＜診療部門＞

現場力の強化

1. 現場スタッフの拡充と強化による患者様受け入れ体制拡大
2. 高度先端技術の更なる導入実践による、あらゆる歯科疾患への対応強化

3. Human Development Academy 人財育成プログラムの充実による人材育成強化(態度教育、技能教育、社会人教育)
4. 歯科衛生士を中心とした予防管理体制の充実による継続力の有る「かかりつけ歯科」の役割強化
5. 無料送迎サービスの拡充(全地区)
6. 在宅サービスの拡充(全地区)

②＜技工部門＞

業態改革

1. 米国の歯科技工の受注拠点拡大とグローバルな製造拠点開拓による更なる国際的分業化と国際貢献の推進
2. 衰退著しい日本の技工界での若手人材の育成と技工士学校の支援
3. 技工部門を外貨獲得産業へ育成し、国家依存型から国家貢献型産業への転換への更なる挑戦
4. 海外拠点での人材の雇用、育成による国際貢献の継続拡大

③＜管理部門＞

1. AI も含め IT を駆使し、世界の全拠点を日本本部で一元管理する運営システムの強化
2. 多国籍スタッフの採用による国際化に対応した管理部門強化

以上の課題をスタッフ一同共有し、今年も努力してゆきます。
お気づきの点や御要望があれば何なりと御指摘頂ければ幸いです。
(徳真会患者様ご相談窓口 TEL：0120-24-7072)

今年も、皆様にとって良い年となります様祈念致しております。

2026 年 正月

徳真会グループ
代表 松村 博史